



伊豆市

議会だより

No.26

発行:伊豆市議会 <http://www.city.izu.shizuoka.jp> 編集:議会報編集特別委員会
〒410-2413 静岡県伊豆市小立野38-2 TEL 0558-72-9906 **2010.11.1発行**



(中伊豆地区 八幡)

かつて大見16ヶ村の総鎮守であった来宮神社の入口には、通称「鳥居スギ（市指定天然記念物）」と呼ばれる大木がそびえています。

また、本殿裏山には、樹齢500年以上のクスノキもあります。この老木には空洞うろがあり、その昔、伊東祐親の家臣に追われた大見小藤太が隠れたと伝えられています。

目次 CONTENTS

- 9月定例会の概要 2
- 一般質問 6
- 12月定例会の予定 12

平成22年
9月定例会

平成21年度 各会計歳入歳出決算を認定。 一般会計歳出総額は、155億4,347万円に。

9月1日から24日まで（会期24日間）、9月定例会が開かれました。
上程された議案は、報告3件、平成21年度決算認定13件、平成22年度補正予算8件、その他2件で、審議の結果、いずれも原案のとおり認定・可決されました。



◆ 報 告

- 21年度健全化判断比率の報告
- 21年度資金不足比率の報告
- 専決処分の報告（交通事故）

◆ 21年度決算認定

- 一般会計
- 公共用地取得事業特別会計
- 国民健康保険特別会計
- 老人保健特別会計
- 後期高齢者医療特別会計
- 介護保険特別会計
- 簡易水道事業特別会計

- 下水道事業特別会計
- 農業集落排水事業特別会計
- 湯の国会館事業特別会計
- 天城温泉会館事業特別会計
- 上水道事業会計
- 温泉事業特別会計

委員会での議案審査

一 般 会 計

問 固定資産税の収入未済額5億円の原因をどのように考えているか。また、軽自動車税の収入未済約680万円は何人分か。

答 固定資産税の収入未済の原因としては、オイルショック以前に別荘を購入した納税者が世代交代し、支払いが困難になっていること等があります。
軽自動車税を納付していない人数の把握はしていませんが、未納の件数は1千400件になります。

問 在宅高齢者タクシー事業補助金の対象年齢が83歳以上の理由は。対象年齢を下げてはどうか。

答 合併時にこの事業を実施していた修善寺町にならない、対象年齢

を82歳以上としていましたが、18年から83歳以上に変更しました。
通院や買い物などに不便を感じている方もいますので、タクシーだけでなくコミュニティバスのようなものなど、市を挙げて検討する必要があることから、全体の見直しを考えています。

問 修善寺駅周辺交通環境整備事業のうち、土地購入費の内容は。

答 伊豆総合高校開校に伴う歩道新設のための用地買収に約2千290万円、駅前派出所付近の道路拡幅のための用地購入に約110万円です。

問 伊豆魅力プロジェクト推進事業補助金の内容は。

答 職員研修をした講師への謝礼、システム構築に向けた顧客調査や施設予約システム作成等の業務委託料、親子キャッチボールキャラバン企画運営委託料等、交流事業と事務費になります。

問 丸山スポーツ公園を整備したことによる費用対効果は。

答 整備をした結果、利用者が増えたということはまだありませんが、魅力プロジェクトによる大会誘致も多くなってきているようなので、徐々に伸びていくと思います。



▲サブグラウンドが整備された丸山スポーツ公園野球場

国民健康保険特別会計

問 短期保険者証、資格証明書について、どのような取り組みをしたか。

答 資格証明書は、国保税を支払う能力があるのに、支払う意思がないと判断した方に発行しています。短期保険者証から資格証明書への切り替えは、収入がある方を対象としており、3回通知した後に

行っていますが、国保税の未納が1年以上の低所得世帯で減額賦課の対象者は除外しています。

後期高齢者医療特別会計

問 普通徴収保険料の収入未済額について、未納の原因は何か。

答 年金機構でストップがかかっている方は、保険料を天引きできないので、未納になってしまうケースが多いようです。納付を忘れていらっしゃる方には、通知をしています。

介護保険特別会計

問 介護従事者処遇改善臨時特例基金積立金の取り崩しは、介護従事者の処遇改善に使われているか。

答 介護保険は、介護給付に見合っただけで国、県、支払基金が財源を出し、保険料、県の補助、一般会計からの繰入金でバランスがとられています。支出が多くなっても保険料を上げることはできませんので、保険給付が上がった分を充当していくための基金になっていますが、実際に、介護従事者の賃金は上がっていると聞いています。

簡易水道事業特別会計

問 簡易水道全体の問題点は何か。

答 施設の老朽化と、一般会計からの繰入金が入る50%を占めており、収入に対し支出が非常に大きいことです。給水原価295円に対し、供給単価が134円なので、生産価格が販売価格の2倍という状況です。また、施設管理の面からも、将来、上水道への統合時に、どのように跳ね返ってくるかということが、非常に大きな課題です。

下水道事業特別会計

問 一般会計からの繰入金金が8億7千600万円と非常に多額だが、基準はあるか。

答 一般会計からの繰入金には、公債費分と建設費分がありますが、公債費分は、起債の元利償還金に充てたもので、原則50%が地方交付税として戻ってくるかと聞いています。建設費分は、料金収入と補助金等を加味して、毎年お願いしている状況です。

繰出金に基準があり、基準内繰出しとしては、流域下水道の建設費、下水道事業債の償還分、分

流式下水道に対する経費、基準外としては、下水道料金が高額にならないように政策的に抑制するために繰入れをしています。

農業集排水事業特別会計

問 一般会計からの繰入金金が9千万円なされているが、そのまま事業を継続せざるを得ないか。

答 公共下水道と同様に、集合処理をしている事業ですので、個別の浄化槽に戻すことは現実的に不可能です。処理費や5箇所の施設維持費を賄えるような使用料を徴収できないので、繰入金が必要となります。

湯の国会館事業特別会計

問 1名から土地の取得があったが、他は借地継続か。

答 財政上、他の3名の土地については借地の更新をしました。

上水道事業会計

問 純損失が1千300万円とあるが、今後の事業見通しは。

答 料金改定時の見込み以上に使用量が減少傾向にあり、収入が落

ちている状況で、20年度よりさらに下がりました。

22年度は8月分くらいから昨年度程度になったことで、下げ止まったかなという気がしています。が、公営企業ですので、支出に対して収入が不足すれば、当然、料金を上げなければならぬというのが原則です。

温泉事業特別会計

問 公共性が低く、市全体のバランスを考えると民営化が適当と考えるが、どうか。

答 温泉スタンドなど、一般会計の中で天城湯ヶ島地区や中伊豆地区の一部の温泉事業を行っていることもありますが、特別会計で行っているのは土肥地区だけなので、今後、温泉事業全体について、やり方や考え方を整理し、検討していきたいと思っています。



▲湯の国温泉スタンド(青羽根)

◆22年度補正予算

一般会計(第2回)

歳入・歳出それぞれ5億2千510万円を増額し、合計で148億6千210万円になりました。

・人件費の補正

22年度の人事異動に伴う人件費の補正等による1千759万8千円の減額。

・環境美化事業

不法投棄回収と廃棄物撤去の委託料等、527万円の増額。

・最終処分場管理事業

年川一般廃棄物最終処分場の法面復旧工事が必要となり、1千300万円の増額。

・県単農業基盤施設整備事業

集落道北又日影線改良工事に2千230万円の増額。

・その他観光施設管理事業

天城山下り八丁池歩道ほか整備工事に542万6千円の増額。

・市道整備事業

市道上和田大野線測量設計業務委託等、360万1千円の増額。

・農業用施設災害復旧事業

年川地区の用排水路災害復旧工事に1千482万円の増額。

特別会計

○国民健康保険特別会計

(第2回)

人事異動に伴う人件費等の補正と、前年度給付費等の確定による精算で、2千260万9千円を増額する内容。

○後期高齢者医療特別会計

(第1回)

前年度の精算による保険料還付金57万円を増額する内容。

○介護保険特別会計(第1回)

人事異動に伴う人件費等の補正と、前年度の精算による国庫や支払基金への償還金等、6千712万7千円を増額する内容。

○下水道事業特別会計(第1回)

人事異動に伴う人件費等の補正、301万3千円を増額する内容。

○農業集落排水事業特別会計

(第2回)

人事異動に伴う人件費等の補正、9万1千円を増額する内容。

○上水道事業会計(第1回)

人事異動に伴う人件費等の補正、66万7千円を増額する内容。

○月ヶ瀬財産区特別会計

(第1回)

立木搬出の作業スペースのための工事費、340万円を増額する内容。

◆その他

●伊豆市土肥地区過疎地域自立促進計画の策定について

土肥地区における22～27年度の自立促進計画が示されました。産業の振興、交通通信体系や生活環境の整備、高齢者等の保健と福祉の向上・増進、医療の確保等に関する事業が予定されています。

●市道路線の認定について

委員会での議案審査

一般会計(第2回)

問 消防救急広域化研究協議会負担金について、広域化されるのは何年からか。現在の違いは何か。

答 平成25年度に新広域消防本部が発足する予定です。

指令系統を広域で行おうというもので、消防署の数を減らすことは計画されていません。

指令や協力体制がうまくいけば、伊東市との境などは、伊東市消防のほうが田方消防から出動するよりも早いなど、利便性が出てくるかと理解しています。

問 定住体験ツアー及び田舎暮らし体験委託料の減額は、事業が失敗したからか。

答 土肥で予定していたものを中止したことによる減額で、湯ヶ島は引き続き運営しています。

2年間定住体験ツアーを実施しましたが、参加された方からのニーズに答えられていない部分があるのは事実ですので、少し時間をいただき検討し、積極的に取り組

んでいきたいと思えます。

問 農業用施設復旧工事の場所はどこか。

答 本年3月の豪雨災害の復旧工事で、修善寺地区の年川の農業用水を復旧するものです。



▲年川の災害箇所

問 市有害鳥獣被害防止対策協議会補助金について、組織の説明と補助の内訳を。

答 市長を会長とする組織で、市鳥獣被害防止計画の中に位置づけられています。

補助金は、全額が県からの補助で、用途は、食肉加工センターに関係する職員の研修や、わな免許取得講習会などを行う予定です。

問 狩野ドームのトレーニンングルームに監視カメラを設置することだが、指導員を配置したほう

がよいのでは。

答 人件費の面から指導員の配置は難しい中、利用者の1割強が60歳以上になっていることもあり、体調の異変などに早く気付くためにも、設置したいと思えます。



▲転落防止壁で、事務所からは死角となる狩野ドームのトレーニンングルーム

下水道事業特別会計(第1回)

問 業務費の国庫支出金償還金はどうのような内容のものか。

答 過去に国庫補助金が投入された土肥浄化センター並びに、修善寺地区沖の原中継ポンプ場の改修工事により発生した鉄くずや、ステンレスを売り払った額を、当時

の国庫補助率により国に返還するための予算になります。

月ヶ瀬財産区特別会計(第1回)

問 今回の補正で行う工事によりできるスペースは、財産区が作業で使用しないときは、隣接する梅組合に貸すとのことだが、賃借料が入るのか。

答 財産区民すべてが梅組合員ではありませんが、賃貸借に関する収入は考えていないと聞いています。

市道路線の認定について

問 民間が分譲した地内の道路を、市道に認定しなければならぬのか。法的にはどうか。

答 都市計画法に基づき、開発区域内の公共施設は市に帰属となることから、市道として管理していくこととなります。

都市計画区域域外に分譲地の多くは小規模で、法的なものはありませんが、開発行為の基準や県道の位置指定基準により、市道認定基準を設けてあります。

市政を問う

～ 一般質問 ～

9月定例会での一般質問は、9月7日、8日の2日間、17名の議員が41件について行いました。質問と答弁を要約してお知らせします。(質問順)

質問

上白岩地区施設の管理一元化と利用促進について

(塩谷 尚司議員)

このエリアの名称を考え、わかりやすい案内板を設置し、利用者に便宜を図り、また、一帯の施設管理を一元化して、市民・市外の人たちの交流の場として利用促進を図ってはと考えるが、所見は。



▲(写真左から) 白岩の湯、白岩グラウンド、中伊豆社会体育館、中伊豆歴史民俗資料館

市長
答

早期に実現するよう
検討します

上白岩地区の当該施設について、新たな名称を考え、案内板を設置し、利用者の便宜を図ることは、前向きに検討します。

また、社会体育館、白岩グラウンド及び歴史民俗資料館などの一元管理についても、なるべく早く実現するよう検討します。

質問

人件費の適正化と効率化
について

(稲葉 紀男議員)

市の財政で人件費の比率は、いまだに近隣の市町に比べて極めて高く、これが市経済の活性化や市民サービスのための財源を圧迫しています。また、職員の平均給与は、民間に比べて高い。どう解決しますか。

また、給与は、仕事の内容や成果を反映させるべきとの勧告や意識改革のための人事評価制度を如何に考えますか。

市長
答

人件費比率の縮小を
目指します

職員数については、現在、新定員計画を作成中ですが、今後も新規採用を抑制するとともに、ある機能をまるごとアウトソースするような斬新な策を検討し、人件費比率の縮小を目指していきます。

人事評価制度については、公務の評価の仕方は、民間の成果主義とは異なっているので、行政における人事評価のあり方を急がないで、検討していきたいと考えます。

質問

伊豆市版婚活サークル「iリーグ」について

(内田 勝行議員)

iリーグは、未婚男女の救世主として誕生し、すでに一年が経過しました。会員数は8月15日現在、1251人に達しています。

7月18日に一周年記念イベントを開催しました。多くの男女がイベントを通し、人生の伴侶に出会うことを切望しています。現状と課題をどのように捉えていますか。

長井 伊豆市の魅力ある素材の活かし方が課題

これまで、合計14回イベント等を開催し、延べ745人の方が参加されました。

現在、このiリーグをお手伝いいただいているサポーターの皆さんの中には、伊豆市の魅力ある素材を、今後どのようにイベントに活かしていくのか、あるいは参加者を募っていくのか、このようなことが課題となっています。



▲昨年12月に行われたX'マスパーティー

質問

伊豆市版事業仕分けについて

(森島 吉文議員)

先般、伊豆市で事業仕分けが行われました。これはマスコミの関心をひき、新聞等で大々的に報道されました。

その事業仕分けに対し、仕分け人への配付資料の説明、内容の密度など満足していたのか、仕分け結果を市政にどのように反映させるのか、今後の事業仕分けをどのように進化させるのか、以上を伺います。

長井 二日間の評価会の成果を整理して公表します

説明資料は、できるだけ簡潔に成果指標、予算・決算データ、事業内容、事業の必要性等を盛り込み、事業の目的や費用対効果を分かりやすくするように努めました。ただまだ改善の余地が多く残されていると考えています。

今後、二日間の評価会の内容を整理して、市民の皆さんに公表します。来年度予算に反映させるのは市長の責務であり、そこで採用しなかった案件があれば、その理由を明らかにさせていただきます。

来年以降も改善し、3回は続けたいと思います。

質問

教育環境の充実について

(三須 重治議員)

猛暑の中、劣悪な環境で二期がスタートした。この教育環境をどのように捉えているか。財源を理由に、改善できないとは言っていない。

来年の夏に向け、一日も早い事業化決定を求める。

長井 教育的環境の改善を前向きに検討します

今年の暑さは近年に類を見ない猛暑であり、二期期を向かえた今日に至っても、同様な日が続いています。このような気象状況の中では、教育的環境は良いはずもなく、改善を検討すべきであると考えています。

学校は8月下旬から始まっていますが、子供たちは毎日水筒を持参して通っている一方、土肥小学校からは、大変快適であると報告を聞いています。

財政がどのくらいかかるか分かりませんが、予算に対してお願いをしていこうと思います。



▲今年、土肥小学校にはエアコンが設置されました

質問

コンビニで住民票等が取得できる可能性について

(梅原 泰嗣議員)

住民票と印鑑登録証明書を交付する行政サービスを「セブン・イレブン」が開始したようです。すでに実施している市では、「休日や夜間でも利用できる」、「交付手数料が市の窓口より50円安い」との情報もあり、市民にとってはありがたい話です。

経費等の問題もあると思いますが、社会的流れの観点から、この業務委託の可能性について伺います。

長弁
市答

高額な経費がかかるので、今後の課題とする

利用者の皆さんの利便性は確かに高まると思いますが、これはかなり経費がかかります。これがネックになります。また、利用するためには、住民基本台帳カードを取得していることが必要になりますが、当市では7月31日時点の交付済が586件であり、普及率は1・6%です。

以上のことから、当市においては、コンビニでの行政サービスは、時期尚早なのではないかということ、今後の課題と考えています。

質問

子宮頸がんなどの予防ワクチンに公費助成を

(杉山 誠議員)

子宮頸がんや細菌性髄膜炎などの病気から、女性や子供を守る予防ワクチン接種に公費助成を行う自治体が広がっている。当市も積極的に取り組んではいかがか。

特に、子宮頸がんは、検診とワクチン接種で100%近く予防できる。来年度も女性特有のがん検診無料クーポンの継続をすべきと考えるがいかがか。

長弁
市答

近隣市町との協議と国の動向で判断

子宮頸がん予防ワクチンは、来年度公費助成制度の導入に向け、近隣市町とともに年齢や助成額等、協議を進めています。

ヒブワクチン、小児用肺炎ワクチンの公費助成は、近隣市町の状況を勘案し、検討します。

なお、乳がん、子宮頸がんの無料クーポンによる検診の継続は、国の動向をみて判断します。



質問

法務局登記事項証明書発行請求機の利用促進

(大川 孝議員)

静岡地方法務局沼津支局へ行かなくても、登記事項証明書や印鑑証明書の発行が、伊豆の国市大仁庁舎内で交付されています。収支が3年連続で赤字のときは、事務取り扱いが終了されます。

このようなことから、今まで市民には、どのような広報活動をしてきたか、また、証明書発行請求機の利用頻度を上げるには、今後どのような方法を考えるのか、所見を伺います。



▲伊豆の国市大仁庁舎内の登記事項証明書等交付窓口

長弁
市答

発行機の利用は、利用者の必要に任せる

市民への広報について、出張所廃止は平成20年2月号に、発行請求機設置は平成21年8月号の広報いずにそれぞれ掲載し、PRしました。

利用頻度の改善については、証明書の必要な方々の利用となりますので、行政として利用促進を求めることは、いかがかと思えます。

質問

子供に対する国保税の引き下げを提案します

(木村 建一議員)

国民健康保険加入世帯の平均所得は、今年
は去年より一割減り、国保税の割合は11・6%
増え、この税だけで、年間所得の約1か月分
で、生活が大変です。

他の保険制度にはない、子どもに課税(伊
豆市は2万6千400円)を求めるとはおか
しい。

国保税引き下げの最低限の要求です。子供
への3割減免を。

長弁
市答

税の引き下げや減免は
難しい

伊豆市の財政力では、市単独で国民健康保
険税を引き下げられる状況にありません。

また、18歳未満の均等割に対する減免措置
も、他の納税者との負担の公平性の面から、
減免が適当とは思えません。

質問

文学・芸術と観光と景
勝地との融合について

(鈴木 初司議員)

井上靖「しろばんば」「夏草冬濤」の舞台
を紹介している、平成17年1月、県発行の「洪
作少年の歩いた道」の中にある、天城温泉会
館をスタートとする120分の散策モデルコ
ースから湯ヶ島の景勝地である世古峡まで、
観光客に足を運んでもらえるよう整備し、官
民で知恵を出し、伊豆の観光が元氣にと強く
思っています。行政の協力と市長の決意を伺
います。

長弁
市答

まちづくりは、
地元の話し合いから

湯ヶ島地区のまちづくりについては、まず
地元の方々と話し合っていたら、その上で
行政が支援、協力できることがあれば、全力
で取り組みたいと申し上げています。

現在、天城湯ヶ島支所が地元の皆さんに働
きかける一方で、観光協会天城支部でも、将
来構想を話し合う機運がおこっていますので、
まずはその成果を待ちたいと思います。

その上で、本物に満ちた湯ヶ島地区に、た
くさんのお客様がおいでいただくよう、行政
もしっかり責務を果たしていきます。

質問

伊豆総合高校の通学路
の安全について

(室野 英子議員)

一、828名の生徒の通学路の安全につき、
6月議会での質問のその後の経過を問う。
二、野尻川に架かる白坂橋を自転車と通学す
る生徒(約70名)は、交通量の多い県道を
車とぶつかりに渡る現状だ。地元
では、危険な様子を朝晩目にして、非常に
心配しているが、市長の見解を求める。

長弁
市答

街路灯は検討中、
歩道は県に要望します

街路灯については、すでに駅前商店街で設置
済みです。県道の街路灯も、県に要望しまし
た。

古川の北側の田んぼに沿ったところは、通
常の街路灯を付けると稲作に影響があるので、
低い位置にどのようなものを付けるのか、建
設課で検討中です。

大仁地区との市境、白坂橋の歩道設置につ
いては、自転車通学の生徒にとっては大変危
険であることは、すでに県に伝えてあります。

今後、さらに県道熱海修善寺線の改良箇所
として、伊豆総合高校の校門付近とともに、
県に要望します。

質問

子育て支援、通学費補助
金について

(古見 梅子議員)

「伊豆市の宝である子供たちは、社会全体で育てる」として、各種の助成をし、本年度、通学費補助金を増やし、子育て支援をしています。

今後、高校生への通学費補助をする予算はどの位で、どのように捻出するのか。財源の確保は重要であり、税収を増やす対策について、どのように検討されていますか。

長弁
市答伊豆市にはビッグチャン
スが控えています

伊豆市の高校生通学費の総額は1億円であり、半額補助でも5千万円の財源が必要になります。実現するには経費を削り、捻出するしかないのではと考えます。

伊豆市の発展、税収対策ですが、これは大変な難題で、短期的に達成することは不可能だと思えます。

しかし、伊豆市には他にないビッグチャンスが控えています。駅周辺整備を雇用創出に繋げることで、知事の構想・300坪程度の畑付きの住宅整備、天城北道路月ヶ瀬インターに観光商業施設を整備するなど、雇用と税収を増やしたいと思えます。

質問

市有地の活性化について

(鍵山 堅一議員)

土肥ふじみ荘の建物、跡地は、営業停止以来そのままになっており、大変危険な状態である。

現在、厳しい状況ではあるが、この場所は、富士山を望む絶景の地でもあり、このことについて市長はどのように考えているか、市の活性化のためにも、お聞かせ願いたい。

長弁
市答建物を解体し、敷地を
公売に付する予定です

旧ふじみ荘は、ご承知のとおり上物付きで過去3回公募をしましたが、いずれも不調に終わりました。そこで現在、解体工事の実施に向けて、入札準備を進めています。

10月に工事を発注し、来年の2月頃までには更地にする計画です。

近いうちに敷地を公売に付する予定ですが、ご指摘のとおり富士山を望む景勝地ですので、観光関連企業などの進出を期待しています。

質問

おどろい(仮称)ライン

(森 良雄議員)

東名高速から伊豆半島に入り、沼津から下田までに、さまざまな名前の道路があります。伊豆縦貫道、東駿河湾環状道路、伊豆中央道路、修善寺道路、天城北道路など、一本の道にいろいろな名称があります。

これらの名称を、伊豆市が音頭をとり、一本化を計ってください。おどろいラインは一例です。

長弁
市答伊豆半島サミットなどの場
で協議をしよう

道路名に限らず、道路標識や観光案内等の標識類も統一すべきだと考えています。

伊豆観光推進協議会や伊豆観光圏、あるいは伊豆半島サミットなどの場で、協議させていただきたいと思えます。

質問

行政当局の責任の取り方について

(関 邦夫議員)

伊豆市は随意契約の扱いに無理があり、細則をつくり進むとしながらも進展していない。

条例、規則等の取り扱いに脇があまく、訴訟を起こされる要因がそこにあるのではないかと。

1. 敗訴した場合、行政当局はどのような責任を取るつもりか。

2. 勝訴しても、諸経費の回収ができない場合の責任について。

市長
市答

訴訟を起こされないような業務遂行に努める

一般論として、住民訴訟で敗訴した場合には、判決内容に従い、訴訟事案が発生した当時の市長に対し、損害賠償請求を行います。

勝訴した場合にも「民事訴訟費用等に関する法律」の規定により、弁護士費用や案件に携わった職員の人件費等は請求できないことになっていないため、経費の全額は回収できません。これは、法律でするので、市としては責任の取りようがありません。

今後は、訴訟を起こされないような業務遂行に努めることに尽きると思えます。

質問

土肥地区小中一貫校実現の方針決定を早急に

(松本 覺議員)

老朽化した土肥小学校舎の新築の必要性、小規模校は解消しないが、通学距離を考えると、再統合は不可能。一貫校実現には準備期間が必要である。

今、学校教育に求められている、読み書き算能力のみならず、生きる力を養成する上で、極端な小規模の弊害は明らかである。全国先進校の報告を見ても、その解決策は小中一貫教育が最も有効である。早期実現の決断を伺います。

市長
教育答

小中学校一貫教育は有意義と考え、検討する

学校再編成の一つの形として、また、過疎的地域の課題として、小中学校一貫教育の実現は有意義だと考えています。

9年間は長過ぎ、中だるみが起きる、校庭が自由に使えない等の批判もあり、実施している学校は全国的にはまだ少数ですが、教育的には、中1ギャップ等の学習環境の改善になると言われています。

教育委員会では、昨年から土肥地区と中伊豆地区を対象に実践研究を行っており、今後とも教育条件の整備等について、検討していきたいと考えています。

質問

観光産業の窮状に対し、その対策は

(西島 信也議員)

伊豆市の主産業である観光業が、今未曾有の大不況に陥っているが、その弱りきった観光業の中核をなしている旅館・ホテルへ、今こそ救済の手を差し伸べる時期ではないかと。

その一つは、長年修善寺地区の河川浄化を担ってきた公共下水道の営業温泉水使用料の減免と、二つ目は観光庁も推進している旅館・ホテルの固定資産税について、建物の評価基準の見直しによる減免を提案するが、この2点についてどう考えるか。

市長
市答

公共料金及び税の性質上、例外規定は難しい

一般論として、公共料金及び税というのは、その性質上安定性が求められ、例外規定を設けるのは難しいと考えています。

なかでも、修善寺温泉場地区の下水道処理については、以前「桂川、狩野川本来の清流を取り戻すこと」によって、環境や景観の改善など、観光にも有益である」ということで、導入されたものと伺っています。

私もこのたびの中国訪問で、伊豆市の自然環境の優位性について再認識しました。なにとぞご理解をいただきたいと思えます。

常任委員会 行政視察の実施

経済建設委員会

9月27日～29日、企業誘致の優遇制度、まちづくり先進地及び観光施設について、研修を行った。

岩手県釜石市では、新日鉄撤退により人口が10万人から4万人を割る状況となり、雇用の拡大を図るため、独特の優遇措置を設け、積極的に企業誘致を行っている。

実際に菓子工場を訪ね、会社の状況や社員教育理念等を視察させてもらい、企業誘致の必要性を感じた。

福祉環境委員会

10月4日～6日、武蔵野市の介護保険事業、小千谷市の中越地震での高齢者等への対応、南魚沼市のガス化溶融炉、長野市の福祉バスについて、研修を行った。

中越地震では、阪神淡路大震災の教訓が活かされた反面、高齢者

や障がい者、幼児に対する課題について伺った。

長野市では、中山間地区の公共交通を補助する地域に合わせた車両運行システムについて、また、武蔵野市では、介護を支援する地域団体や住民に補助をして、デイサービスやショートステイなど、地域ごとに展開する特色ある事業について伺った。

総務教育委員会

10月6日～8日、北海道旭川市井上靖記念館、夕張郡栗山町議会の議会基本条例・議会改革について、研修を行った。

北海道は財政力の弱い自治体が多い。栗山町も財政再建団体となつた夕張市の隣に位置し、その例外ではない。したがって、議会も必死の思いで活動している。

特に、「議会基本条例」を設け、議員各位が議決に対する重い責任を実感し、日々研鑽を積んでいる姿は、議員として当然とはいえず、見習うところは多く、今日まで3千人の研修を受け入れているとのことだった。

議会傍聴・視聴について

本会議はどなたでも傍聴することができます。当日、直接お越しください。なお、団体の場合には、事前に議会事務局までご連絡ください。

その他、伊豆市のホームページから生中継と録画による配信もしていますので、ぜひご覧ください。

(議会事務局0558-72-9906)

12月定例会の予定

場所 本庁2階 議場
時間 午前9時30分～
12月2日(木) 議案上程
提案理由説明

6日(月) 一般質問
7日(火) 一般質問
8日(水) 議案質疑
常任委員会
9～13日 委員長報告
17日(金) 質疑・討論・採決

※変更となる場合がありますので
ご承知ください。

編集後記

夏の暑さもようやく収まった十月初めに議会の福祉環境委員会、新潟、長野方面へ研修に行ってきた。

内容は、震災時における高齢者や災害弱者対策、あるいはごみ焼却炉等を視察研修し、有益なものがありました。

その帰途、信州の善光寺を参拝してきましたが、善光寺というお寺はややこしいところで、天台宗と浄土宗の二宗に属しています。

天台宗のほうは大勧進と言ひ、浄土のほうは尼寺で大本願と言ひます。

障子貼る尼に日和の善光寺

勅使河原良夜

信州は冬が早いから、秋も深まれば障子を洗い、新しく張り替えます。新しく貼った障子は、さっぱりと気持ちよく、そして美しくもあります。伊豆市議会も善光寺のようになさっぱりと、かつ美しくやっていきたいものです。

編集委員 西島 信也